

科目名	音楽	科目コード	10360
-----	----	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	長谷川 紀子
単位数・区分	2単位・必履修
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義60，演習0，実験0，その他0】
教科書	毎授業時に、資料、プリント、楽譜を配布する
補助教材	ジョン・ケージ「プリペアドピア」(CD) 「シャルルドウトワの青少年に贈る音楽教室」ビデオ グレゴリア聖歌(エリザベート音楽院)
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

音楽を 表現 感性・感覚 創造、創作、研究 の各方面からとらえる。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
音、音楽の本質を学ぶ。	- %	-
その上で、音と音楽が人間にどのように作用、影響するかを理解していく。	- %	-
音楽を通して人間の役割りを考える。	- %	-

【C．履修上の注意】

音を広い範囲から見つめ直しながら自分を探しだすようにしてほしい。
授業毎に課題をする。

【D．評価方法】

各自の表現力のあるものを重視する。自主的な勉強になるようにする。
課題の提出が主な評価基準とする。
50点以上を合格とする。

【E. 授業計画・内容】

前期

月	内容	備考
4	一人ずつ自分を表現し他の人がその人の持ち味をカラーで表現してみる。(表現、感覚)	
5	音の性質、音の分類 (いろいろな種類の音を認識し分類してみる。)	
6	倍音、純正律、平均律の周波数の比と値の計算(研究)	
7	楽譜、楽曲について グレゴリア聖歌を歌い楽譜(記譜法)の読解をする。(研究)	
9	他に、バッハの「フーガの技法」、「音楽の捧げ物」の主題の変奏の分析等(創造、研究)	

後期

月	内容	備考
10	鑑賞	
11	各国の民族音楽、各時代の音楽をききながら	
12	音楽と歴史、社会との関連を考える。 日本と外国の音楽の相違点について考える。 日本各地の伝承芸能をビデオで見る。	
1	人間の感覚の機能を理解しながら音楽の本質的なものを探求していく。(研究)	
2	各人の興味あるテーマを調べまとめる。(研究、表現) 各人のパフォーマンス(表現)	